

平成 27 年のスタートです。今年もあんず薬局グループを宜しくお願いします。

冬季流行の感染症について 2 点ほど、ご参考ください。

### ◎マイコプラズマ

昨年より流行している。マイコプラズマは、細菌よりは、小さくウィルスよりは大きいというどちらとも言えない性質をもっています。

細菌ではありませんが、マクロライド系という抗生剤が有効であるので治療に使われています。最近そのマクロライド系抗生物質が効きづらいマイコプラズマが、増えてきていて、服用期間が長くなる傾向にあります。

かなり改良されてきましたが、マクロライド系抗生剤の粉の味は、飲料や食べ物の種類によって苦味が出やすく、小児に飲ませにくい薬の上位に入っています。

☆酸味によって苦味がやすいので、フルーツ系ではなく、チョコやバニラ味の、服用補助剤を、お勧めしております。

※免疫力がつきにくく、繰り返し感染するケースも多いです。他の感染症と違って乳幼児は、比較的軽い症状済む事が多く、年齢が上がるほど、肺炎等重症化しやすいといった変わった性質でもあります。

### ◎ロタウィルス

乳幼児の胃腸炎の原因の 1 つで発熱を伴うことが多く、冬季の発症が多いようです。

特徴の 1 つに「無熱性痙攣」といって熱性痙攣とは異なる痙攣を引き起こす事があります。大半のケースが、持続しても数十秒で収まり、単発の発作で予後不良もありませんが、まれに、感染中に痙攣を繰り返す事があります。熱性痙攣ではないため、熱性痙攣用のジアゼパム（商品名：ダイアップ）坐薬は効果がないため、酷い下痢に加えて、痙攣発作で軽くパニックになる保護者の方もいるそうです。

痙攣を繰り返すときは、「カルバマゼピン」という、一部のてんかんや、三叉神経痛などに使われる薬の内服が用いられます。

ロタウィルスの場合は、免疫が得られるため、2 度とかからないとは言えませんが、一度感染した子供の 50% 以上は、2 度目の感染をしても、胃腸炎にまでは至らないと報告されています。よって、危険なのは初回感染の乳児ということになります。日本でも 2 年前にワクチンが認可、販売されました。

但し、任意接種で、接種期間も生後 6 週から 32 週と制限がありますので、かかりつけ医とよく相談して決めてください。

※感染症予防の基本はうがい・手洗いが効果的ですので普段から予防を心がけましょう。

**今年が、去年より少しでも良い年でありますように**